

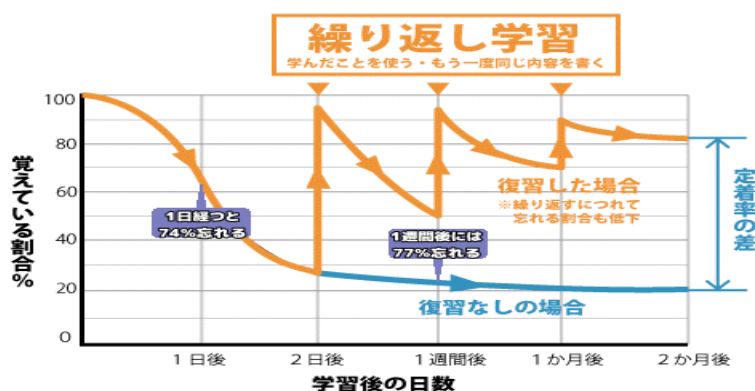
「家庭学習」は「作業」・「修行」ではなく「準備」

「今日は宿題ないからゲームやりたい放題だ☺」・・・小学校の頃のように毎日プリントやがんばりノート2ページなどとかあるわけじゃないから、親も何が宿題として出されてるか知らないから何も言ってこないし、家庭学習はテスト前に頑張ればいーやと思ってる生徒はいませんか？「与えられた宿題」を「作業指示」と捉えてしまい、家庭学習時間が「作業」の時間となり、「勉強」は「いくらやっても成果のでない非効率で嫌いなもの」となっている生徒はいませんか？でも、中学2年生・3年生になるとおのずと気づいてくるはずです。「宿題なし」が「家庭学習しなくていい」ではないことを。中学生になったら「勉強」に対する意識改革が必要なのです。

中学校で良い成績を取るためには、「家庭学習」は「準備」と明確に意識することが大切なのです。家庭学習が「良い準備」になるために、勉強する時間は集中すること、授業を聴くこと、ノートにメモすることなどが必要になってきます。同じ時間を過ごしたとしても決してやらされる「作業の時間」の多い生徒ではなく、「良い準備」をたくさんした生徒がテストでもよい点数を取れるようになっていきます。何を覚えるにしても「明日聞かれたら答えられるかな？書けるかな？」などと想定しながら取り組んでいる生徒が点数を伸ばしていきます。そして、やる気や好き嫌いを超えて自分の気持ちをコントロールしながら必要な準備ができるように成長していくことが人としての成長にもつながるのです。

また、「自分は授業で全部理解しているから、特に勉強しなくても大丈夫」と家庭学習をおろそかにし、実際のテストでは全然できなくて悔しい思いをした生徒もいることでしょう。そこで有名なデータを1つ紹介します。心理学者エビングハウスの研究によれば、完璧に覚えたつもりでも1日経てば7割以上が記憶から消えてしまうと言われています。しかし、反復（復習）することで、忘れる割合は大幅に低くなることも、心理学者ラッセルによって証明されています。まさに「継続は力なり」当たり前のことこそ繰り返し復習は大切です！

エビングハウスの忘却曲線（脳の忘れるしくみ）より



本校では「自立した学習者」を育成するために、「家庭学習」は自分に今必要な勉強を自分で考え、学習の内容や方法を自分で計画し、実践・自己評価していく自主学習を指導しています。そのために、何をやるのか、いつやるのかを計画・管理し、目に見える形で意識し実践していけるよう「未来ノート」を活用しています。

ぜひ保護者の皆様も、生徒がタブレットを持ち帰った機会に、お子様の未来ノート(電子版)をご覧になって、我が子が立派な「自立した学習者」になれるようサポートしていきましょう。

